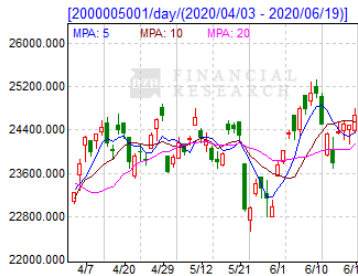


# 中国株ウィークリーレポート

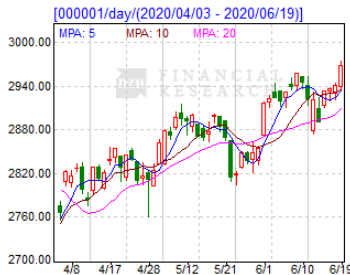
2020/6/22

## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	25,871.46	-208.64	-0.80	1.04	-9.35	28,538.44
NASDAQ	9,946.12	3.07	0.03	3.73	10.85	8,972.60
日経225	22,478.79	123.33	0.55	0.78	-4.98	23,656.62
上海総合	2,967.63	28.32	0.96	1.64	-2.70	3,050.12
滬深300 (CSI300)	4,098.71	54.33	1.34	2.39	0.05	4,096.58
ハンセン	24,643.89	178.95	0.73	1.41	-12.58	28,189.75
中国企業	9,974.59	58.14	0.59	1.44	-10.69	11,168.06

## 【株式概況】

### 先週の動き: ハンセン指数は1.4%高と反発、上海総合指数は1.6%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.4%高と反発した。週明け15日は新型コロナの感染再拡大を嫌気した売りに押されたが、その後は各国の経済活動の再開を好感する買いで持ち直す展開。米中高官によるハワイでの会談が伝わる中、週末19日には中国による米農産物の購入も伝わり、米中対立緩和への期待も高まった。本土市場では上海総合指数が週間で1.6%高と反発。米中対立の緩和期待に加え、FTSEによるA株組み入れ比率の引き上げを前にした資金流入期待も相場の押し上げ要因となった。

### 今週の展望: 香港市場は上値の重い展開か、各国の景気低迷の長期化を懸念

香港市場は上値の重い展開か。ブラジルやインドなど新興国で新型コロナの感染が拡大する中、経済活動を再開した米国や中国で再び感染が拡大しており、景気低迷が長期化するとの警戒感が広がりそうだ。香港の政治不安や朝鮮半島情勢を巡る地政学リスクも引き続き懸念材料として意識される公算が大きい。本土市場も中国政府による景気対策や金融緩和への期待は根強いものの、節目の3000ポイントに近づく水準では利益確定売りが出やすくなりそうだ。今週は端午節のため香港は4日間、本土は3日間の取引となる。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 九龍倉置業地産(01997)	39.10	13.50
2 瑞声科技(02018)	46.45	10.86
3 中国旺旺(00151)	6.20	10.32
4 石業集団(01093)	13.92	8.19
5 中国生物製薬(01177)	14.82	7.70
6 創科実業(00669)	78.10	5.61
7 ベトロファイ(00857)	2.79	4.89
8 中国海外発展(00688)	25.30	4.76
9 恒基兆業地産(00012)	30.95	4.74
10 ハンセン銀行(00011)	135.30	4.48

### ▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 ホンコ・ファイガス(00003)	12.22	-2.55
2 Link REIT(00823)	65.70	-2.09
3 サンス・ファイ(01928)	31.95	-1.84
4 中国平安保険(02318)	79.15	-1.80
5 華潤置地(01109)	31.40	-1.72
6 香港鉄路(00066)	40.15	-1.71
7 中電控股(00002)	77.50	-0.70
8 長江和記実業(00001)	51.80	-0.48
9 電能実業(00006)	44.10	-0.45
10 銀河娛樂(00027)	54.35	-0.18

## ▼今週の主なイベント

- 6月25日(木)
- 【香港】端午節で休場
- 【中国】端午節で休場(～26日)
- 【米国】GDP確定値(1-3月)
- 6月28日(日)
- 【中国】工業企業利益(5月)

### ▼今週の期待材料

- ◆FTSE ラッセルが19日大引け後にA株の組み入れ比率を調整、従来の17.5%から25%へと引き上げ
- ◆中国国家発展改革委員会が内需掘り起こしのため、家電や自動車の買い替えを促進する方針を表明
- ◆米中高官のハワイ会談で中国側は「建設的な対話ができた」と評価、米中の対立激化懸念が後退

### ▼今週の懸念材料

- ◆15日発表の中国の主要経済指標が軒並み市場予想を下回る弱い内容、景気低迷の長期化に警戒感
- ◆本土市場は25日から端午節で4連休、連休を前にリスク回避の売りが出やすい状況に
- ◆米国のアリゾナ州やフロリダ州などで新型コロナの新規感染者数がピークに、感染第2波に警戒感

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ SMIC (00981) : 上海科創板への 상장計画、19日に上市委員会の審査を通過
- ☆ チャイナ・モバイル (00941) : 5月の5G加入数が前月から1186万件純増
- ☆ エン州煤業 (01171) : 発行済みH株の10%を上限に自社株買いを計画
- ☆ 三生製薬 (01530) : 子会社が開発した乳がん治療薬、中国当局が承認
- ☆ 上海電気集団 (02727) : 風力発電設備子会社の上海科創板への分離上場を申請
- ☆ 波司登国際 (03998) : 23日に20年3月本決算を発表、市場予想は10%増益
- ☆ JDドット・コム (09618) : 創業セール総注文額が2692億元、過去最高を更新
- ◇ 中国人民財産保険 (02328) : 国家中小企業発展基金に2億元出資
- ★ 瑞安房地產 (00272) : 20年12月本決算は新型コロナの影響で赤字転落の可能性
- ★ 李寧 (02331) : 国境衝突で中印関係が悪化、インドが五輪サプライヤー契約破棄検討

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。